

神戸医療福祉大学

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

(1) 社会福祉学科

社会福祉学科では、建学の精神および学科の教育目的に沿って設定した科目を履修し、高齢者、障がい者、児童、貧困者等を対象に、身体・医療的側面、心理・社会的側面、経済・制度的側面の視点や枠組みをもって、個人の生活理解と問題やニーズの発見を行い、福祉・保健医療サービス、地域の社会資源を活用した支援マネジメントができる社会福祉専門職を育成するため、次の方針のもとカリキュラムを編成し実践します。

1. 教養科目を通して人間と社会を理解し、将来の福祉専門職として必要な資質と能力を身につける。
2. 相談支援に必要な制度と実践方法を学ぶとともに、それを実践するためのコミュニケーションスキルとマインドを身につける。
3. 個人と地域の生活問題を発見し、社会的に解決するために不可欠なアセスメント能力やマネジメント能力などを身につける。

(2) 健康スポーツコミュニケーション学科

健康スポーツコミュニケーション学科は、健康・福祉スポーツ分野における必要な知識と実践方法を修得し、専門領域のスキルを高め、教育分野の指導者のみならず、生活の質の維持・向上のために幅広い年齢層を対象とした適切な健康・運動の指導ができる人材を育成することを目的とします。この目的を達成するため、次の方針のもとカリキュラムを編成し実践します。

1. 教養科目を通じて社会人として国内および国際社会で活躍できる教養を身につける。
2. 社会福祉学部として基礎から専門的なことまでを体系的に学び、さまざまな人とのコミュニケーション力を身につける。
3. 健康・スポーツ分野において幅広い知識と実践方法を習得し、専門性の高い指導力と指導方法を身につける。

(3) 経営福祉ビジネス学科

経営福祉ビジネス学科は、人に寄り添い、組織をリードし、社会に貢献することを自らの目標に定め、福祉と経営に必要なマインド、スキル、知識を身につけることで、人、組織、社会の抱える様々な課題に気づき、その原因を分析し、解決策を提案・実行できる人材を養成することを目的とします。この目的を達成するため、次の方針のもとカリキュラムを編成し実践します。

1. 教養科目および学科専門科目を通じて、グローバル化に対応する異文化理解力、発信力、傾聴力を身につける。
2. 課題解決型学習等により、職場や地域社会で実践できる論理的・戦略的な思考力、想像力、表現力を身につける。
3. 社会福祉について体系的に学び、相談援助の専門職にふさわしい人間性、知識、技術を身につける。